

丹波市の人事行政の運営等の状況を公表します

市の人事行政の運営等の状況（職員の給与等）については、丹波市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例により、毎年その内容を公表することになっています。平成27年度の主な内容をお知らせします。

（1）職員の任免及び職員数に関する状況

①職員の任免の状況（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

◇採用…………… 41人（H27. 4. 1、H27. 10. 1）

	割愛採用	新規採用	中途採用	計
一般行政職	9	18	1	28
消防士	—	6	—	6
保健師	—	3	—	3
技師	—	2	—	2
指導主事	2	—	—	2
計	11	29	1	41

◇退職…………… 40人（H27. 4. 9、H27. 4. 30、H27. 5. 1、H27. 6. 11、H27. 6. 30、H27. 10. 31、H27. 12. 31、H28. 3. 30、H28. 3. 31）

	定年退職	勸奨退職	普通退職	割愛退職	失職	計
一般行政職	1	22	8	2	2	35
教育公務員	—	—	—	2	—	2
技能労務職	2	—	—	1	—	3
計	3	22	8	5	2	40

◇職種別任免

※教育長を除き、派遣職員を含みます。

職種名	職員数（H26・H28は参考）			備考
	H26. 4. 1	H27. 4. 1	H28. 4. 1	
一般行政職	445	451	457	技師、派遣職員含む
消防士	72	76	77	消防職
保育士	15	16	16	2保育所
幼稚園教諭	23	10	11	10園（H26）4園（H27・H28）
指導主事	8	8	8	教育委員会事務局（管理職等を含む）
医師	1	1	1	国保診療所
保健師	21	24	22	健康課、介護保険課、生活支援課
看護師	7	6	6	国保診療所
看護専門学校専任教員	0	9	10	看護専門学校（H27・H28）
栄養士	2	2	2	健康課
理学療法士	2	2	2	国保診療所、こども発達支援センター
診療放射線技師	1	1	1	国保診療所
言語聴覚士	2	0	0	こども発達支援センター
介護支援専門員	4	4	4	介護保険課
社会福祉士	2	2	3	介護保険課、生活支援課
技能労務職	50	47	45	自動車運転員、環境整備員、給食調理員、校務員、機械員、派遣職員含む
計	655	659	665	

②職員数に関する状況

◇部局・役職別職員数の状況（平成27年4月1日現在、相当職を含みます。）

	部長	次長	課長	副課長	課長補佐	係長	主幹	主査	主事	技能労務	計
市長部局	11	1	39	2		78	109	103	65	25	433
消防本部	1	1	4	1		16	7	30	20		80
水道部	1		2			3	7	6	3		22
会計課	1		1			2	1	2	1		8
教育委員会	1	1	5	1		15	28	26	3	17	97
議会	1		1			1	1		1		5
監査委員会			1			1		1			3
農業委員会			1			1	2				4
派遣			1			1				5	7
計	16	3	55	4	0	118	155	168	93	47	659

◇部門別職員数の状況

区 分 部 門			職 員 数 (H26・H28は参考)			備 考
			H26. 4. 1	H27. 4. 1	H28. 4. 1	
一 般 行 政 部 門	一般管理	議 会	5	5	5	6 支所を含む
		総 務	148	145	147	
		税 務	29	28	27	
		労 働	0	0	0	
		農林水産	31	41	39	
		商 工	13	11	12	
		土 木	43	42	46	
	福祉	民 生	81	79	77	
		衛 生	54	63	63	
特 別 行 政 部 門	教 育		91	79	80	
	消 防		74	80	81	
普 通 会 計 小 計			569	573	577	
公 営 企 業 部 門	病 院		11	10	10	国保診療所
	水 道		20	21	21	
	下 水 道		16	16	16	
	そ の 他		32	32	34	国保、介保、農済
	小 計		79	79	81	
派 遣 職 員			7	7	7	氷上多可衛生事務組合
合 計			655	659	665	

※職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員を含み、臨時又は非常勤職員を除いています。

※教育長を除いています。

(2) 職員の人事評価の状況

①職員の人事評価の状況

- ・「丹波市職員勤務評定実施規定（平成16年11月1日訓令第15号）」により実施
- ・「消防職員勤務評定実施要領」（試験（一般学科、消防学科、論文））による評定
- ・「消防職員の昇任候補者試験実施要領」（学科試験、実科試験、口述試験、勤務実績評定、体力測定、経歴評定）による階級昇任試験

(3) 職員の給与の状況

①職員給与費の状況（平成27年4月1日現在）

・平成27年度普通会計当初予算（職員手当に退職手当を含みません。）

職員数(人) A	給 与 費 (千円)				1人当たり給与費 B/A(12ヵ月)
	給 料	職員手当	期末勤勉手当	計 B	
565	2,158,119	412,401	792,945	3,363,465	5,953千円

※教育長を含みます。

※上記(1)－②部門別職員数の状況の普通会計職員数(人)と上記職員数(人)に差がありますが、これは実人数と予算上人数との差です。

②職員の平均給料月額及び平均年齢の状況（平成27年4月1日現在）

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	備考
一般行政職	42.9歳	324,441円	385,061円	
技能労務職	47.7歳	307,788円	369,780円	給食調理員、環境整備員等
教育職	48.6歳	383,922円	421,650円	幼稚園教諭、指導主事
消防職	37.2歳	286,442円	347,967円	

※平均給料月額…職種毎の職員の基本給の平均です。

※平均給与月額…職種毎の職員の基本給と毎月支払われる扶養手当、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当の額との合計の平均です。

③職員の初任給の状況（平成27年4月1日現在）

区 分	一般行政職	年 齢	技能労務職(給食調理員)	技能労務職(環境整備員)
高校卒	146,500円	18歳	144,200円	149,000円
短大卒	157,700円	20歳	154,900円	160,900円
大学卒	174,200円	22歳	168,100円	175,000円

④ラスパイレス指数の状況

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
96.2	103.9 (96.0)	103.7 (95.8)	96.2	96.7

※ラスパイレス指数…地方公務員と国家公務員の給与水準を国家公務員の職員構成を基準として、職種毎の経験年数別、学歴平均給料月額を比較し、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示したものです。

※平成24年度、平成25年度の()は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値です。

⑤職員手当の状況（平成27年4月1日現在）

区 分	内 容			
期 末 勤 勉 手 当	支給割合	期 末	勤 勉	計
	6月	1.225月分	0.750月分	1.975月分
	12月	1.375月分	0.750月分	2.125月分
	計	2.600月分	1.500月分	4.100月分
	* 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5～10%			
地 域 手 当	なし（兵庫県後期高齢者医療広域連合派遣職員を除く） ※兵庫県後期高齢者医療広域連合派遣職員（神戸市） 支給割合10%			
扶 養 手 当	配偶者13,000円 扶養親族1人につき6,500円 年度初め満16歳～満22歳の年度末までの加算額 各5,000円 【配偶者がいない場合】 扶養親族1人については11,000円			
住 居 手 当	借家居住者月額12,000円以上の家賃を支払っている職員に支給。 最高27,000円			

管 理 職 手 当	部長相当職（医師職）	66,700円
	（医師職を除く）	57,600円
	次長相当職（医師職）	55,000円
	（医師職を除く）	45,700円
	課長相当職	37,400円
	副課長相当職	28,500円
管理職員特別勤務手当	管理職員が臨時又は緊急、その他の公務の運営の必要により週休日又は休日等に勤務した場合に役職に応じて支給。 勤務1回につき 部長、課長相当職 6,000円 副課長相当職 4,000円 【勤務時間が6時間を超える場合】 上記の額に100分の150を乗じた額	
特殊勤務手当	下水管渠内作業手当 作業1日につき1,000円以内 感染症防疫作業手当 作業1日につき1,000円以内 小動物死体処理作業手当 作業1回につき1,000円以内 家畜死廃病傷事故作業及び損害防止作業手当 作業1回につき1,000円以内 行旅死亡人等取扱作業手当 行旅病人 取扱い1件につき1,000円以内 行旅死亡人 取扱い1件につき2,000円以内 清掃現場業務手当 月額10,000円以内 火葬業務手当 1件につき4,000円以内 休養施設業務手当 給料月額の3%以内 診療所医師手当（国保診療所） 給料月額の50/100に475,000円を加えた額の範囲内に、診療・手術手数料の60/100を超えない範囲を加えた額 予防衛生等業務手当（国保診療所） 1年30,000円（補助的業務5,000円）を超えない範囲内 学校医・幼稚園医手当（国保診療所） 各1年60,000円を超えない範囲内 保育所（園）医・認定こども園医手当（国保診療所） 各1年60,000円を超えない範囲内 産業医手当 月額20,000円を超えない範囲内 X線作業手当（国保診療所） 月額6,000円以内 人の死体処置従事手当（国保診療所） 1回につき3,000円以内 出動手当（消防吏員） 災害出動 機関員・・・1回 400円以内 その他・・・1回 300円以内 救急出動 機関員・・・1回 400円以内 その他・・・1回 300円以内 救急救命士・・・1回 500円以内 当務手当（消防吏員） 隔日勤務者に現に消防業務に従事した消防吏員に1当務500円以内。 ただし、従事した時間が1当務に満たないときは2分の1を減額する。 教務手当（看護専門学校専任教員） 丹波市立看護専門学校の専任教員が講師として研修、講義又は実習指導の業務に従事したときに支給。 月額26,100円以内	

時間外勤務手当		時間外勤務1時間につき (平日) 午前5時00分～午前8時30分 125% (平日) 午後5時30分～午後10時00分 125% (平日) 午後10時00分～翌朝5時00分 150% (平日60時間超) 午前5時00分～午前8時30分 150% (平日60時間超) 午後5時30分～午後10時00分 150% (平日60時間超) 午後10時00分～翌朝5時00分 175% (週休日) 午前5時00分～午後10時00分 135% (週休日) 午後10時00分～翌朝5時00分 160% (週休日60時間超) 午前5時00分～午後10時00分 150% (週休日60時間超) 午後10時00分～翌朝5時00分 175%				
宿 日 直 手 当		1回につき 4,200円 (5時間未満 2,100円)				
通 勤 手 当		交通機関利用者 運賃等の相当額 自動車等通勤者 片道 1km以上 3km未満 1,000円 ～ 2,100円 片道 3km以上 10km未満 2,900円 ～ 5,800円 片道 10km以上 60km未満 7,300円 ～ 29,800円 片道 60km以上 31,600円				
単 身 赴 任 手 当		月額30,000円 【赴任先が遠方の場合】 交通距離が100キロメートルを超える場合は、上記の額に6,000円から58,000円の範囲内（距離区分に応じて）で加算した額。				
退職手当	自 己 都 合	勤続20年	勤続25年	勤続30年	勤続35年	最高限度
		20.445	29.145	36.105	41.325	49.59
	勸 奨 退 職	勤続20年	勤続25年	勤続30年	勤続35年	最高限度
		25.55625	34.5825	42.4125	49.59	49.59

※退職手当は、兵庫県市町村職員退職手当組合に加入しているので、支給率は本組合の支給率です。

⑥特別職等の給料・報酬の状況（平成27年4月1日現在）

区 分		給料・報酬月額
給 料	市長	585,000円
	副市長	665,000円
	公営企業管理者	570,000円
	教育長	598,000円
報 酬	議長	445,000円
	副議長	365,000円
	常任委員長	355,000円
	常任副委員長	345,000円
	議会運営委員長	355,000円
	議会運営副委員長	345,000円
	議員	330,000円
期末手当支給割合	市長・副市長	6月 1.85月分
	公営企業管理者・教育長	12月 1.95月分
	議長・副議長・常任委員長・常任副委員長	6月 1.85月分
	議会運営委員長・議会運営副委員長・議員	12月 1.95月分

※市長の給料月額については「丹波市特別職の職員で常勤の職員の給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例」にもとづき、平成26年12月から平成27年5月までは585,000円、平成27年6月以降は836,000円です。

(4) 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

①一般職員の一週間の勤務状況

- ・ 正規の勤務時間 38時間45分
- ・ 勤務時間 8時30分～17時15分
- ・ 休憩時間 12時00分～13時00分
- * 消防職員は、「隔日勤務者勤務表」(1当務24時間拘束、15時間30分勤務)によります。
- ・ 隔日勤務 56人
- * 教育委員会職員のうち、勤務時間が8時30分～17時15分以外の者は次のとおりです。
 - 7時30分～16時00分 校務員
 - 8時00分～16時45分 幼稚園教諭、保育士
 - 8時15分～17時00分 給食調理員
 - 9時15分～18時15分 図書館職員

②休暇の種類

- ・ 年次休暇 20日
- ・ 病気休暇 120日以内
ただし、結核性疾患・精神障害の場合2年以内。公務災害の場合は、任命権者が必要と認める期間
- ・ 特別休暇(主なもの)
公民権公務関係休暇、骨髄提供休暇、ボランティア休暇(5日以内)、結婚休暇(5日以内)、産前休暇(8週間以内)、産後休暇(8週間)、育児時間(1日2回各30分以内)、出産補助休暇(2日間以内)、生理休暇、看護休暇、忌引休暇(例：父母10日以内)、夏季休暇(5日以内)、リフレッシュ休暇(連続の3日以内)
- ・ 介護休暇 連続する6月の期間内において必要と認められる期間(1日又は1時間単位)
- ・ 組合休暇 30日以内(1日又は1時間単位)

(5) 職員の休業に関する状況

①休業の種類

- ・ 育児休業
3歳に達するまでの子を養育するため、3歳に達する日まで取得できる休業。
- ・ 育児短時間勤務
小学校就学の始期に達するまでの子を養育するため、職員が希望する日及び時間帯において勤務形態を変更し勤務すること。
- ・ 部分休業
小学校就学の始期に達するまでの子を養育するため、1日の勤務時間の一部(2時間を超えない範囲内の時間)について勤務しないことが認められる休業。
- ・ 介護休業
職員が要介護状態にある対象家族を介護するために取得できる休業。

②休業の取得状況(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

- ・ 育児休業 7人(*うち男性の取得 0人)
- ・ 育児短時間勤務 0人
- ・ 部分休業 14人
- ・ 介護休業 0人

(6) 職員の分限及び懲戒処分の状況（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

①職員の分限処分の状況

- ・分限処分 休職2件（1人）、降任1件（1人）
※分限処分…職員がその職務を十分に果たしえない場合等に、本人の意に反して行う処分。

②職員の懲戒処分の状況

- ・懲戒処分 失職2件（2人）、戒告5件（5人）
※懲戒処分…職員の一定の服務義務違反に対して、道義的責任を追及するために行う処分。

(7) 職員の服務の状況

①服務の原則

職員は、市民全体の奉仕者としての職責を自覚し、誠実公正に、かつ、能率的に職務を執行するよう努めなければなりません。職員が守るべき義務は次のとおりです。

職務命令に従う義務	職員は、職務を遂行するにあたって、法令等の定める規程に従い、かつ、上司の職務上の命令に忠実に従わなければなりません。
信用失墜行為の禁止	職員は、職の信用を傷つけ、又は職員の職全体の不名誉となるような行為をしてはなりません。
秘密を守る義務	職員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはなりません。
職務に専念する義務	職員は、法律又は条例に特別の定めがある場合を除くほか、その勤務時間及び職務上の注意力のすべてをその職責遂行のために用い、職務にのみ従事しなければなりません。
政治的行為の制限	職員は、政党その他の政治的団体の結成に関与するなどの政治的行為が禁止されています。
争議行為等の禁止	職員が争議行為等を行うことは禁止されています。
営利企業等の従事の制限	職員が営利企業等に従事することは制限されており、従事する場合にはあらかじめ許可を受けなければなりません。

②公務員倫理

職員が市民全体の奉仕者であって、その職務は市民から負託された公務であること及び職員の職務外の行動であってもそれが公務に対する市民の信頼に影響を及ぼし得ることから、職務の執行の公正さに対する市民の疑惑や不信を招くような行為の防止及び職員の公務員倫理に対する意識の高揚を図り、公務に対する市民の信頼を確保することを目的として、「丹波市職員の倫理に関する要綱」を平成22年7月20日に制定しています。

(8) 職員の退職管理の状況

地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律（平成26年法律第34号）が平成26年5月14日に公布され、平成28年4月1日から施行されました。同法による改正後の地方公務員法（以下「改正後の法」といいます。）では、地方公務員の退職管理の適正を確保するため、退職管理に関する規定が新たに設けられました。

改正後の法の趣旨に基づき、丹波市においても退職管理の適正を確保していく制度の確立に努めます。

(9) 職員の研修の状況

①職員の研修の状況

- ・ 兵庫県自治研修所、丹波公務能率推進協議会、兵庫県等の研修会への参加
 - ◎ 兵庫県自治研修所
監督職、市町管理職、行政法、公務員倫理指導者養成、接遇指導者養成、人と仕事のマネジメント力向上、女性リーダー育成、クレーム対応力向上 等＝57人
 - ◎ 丹波公務能率推進協議会
コミュニケーション、ストレス・モチベーション、リスクマネジメント、公共マーケティング、市民満足度向上、折衝・交渉力向上、プレゼンテーション 等＝193人
 - ◎ 兵庫県
栄典事務、交付税、徴収事務、財務事務、地方債事務、法制執務、給与事務、人事・労務、マイナンバー制度、選挙事務、地方公営企業会計制度 等＝25人
 - ◎ 丹波市
AED研修、OJT研修、人事評価制度理念研修、政策法務能力向上研修、たんば職員チャレンジプログラム、組織力強化研修、職場風土改革研修 等＝1,252人
 - ◎ 消防職員
兵庫県消防学校の教育研修、救急救命士養成研修、救急救命士病院実習 等
 - ◎ 監査事務
県都市監査委員会実務研修、都市監査委員会事務研究会、公平委員会研究会

(10) 職員の福祉及び利益の保護の状況

①職員の福祉の状況

- ・ 公務災害等の認定状況（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

区 分	公務災害	通勤災害	計
認定件数	2 件	1 件	3 件
- ・ 丹波市職員安全衛生管理規程（安全衛生管理体制－産業医：長澤進医師・酒井良明医師、衛生管理者：保健師、職員安全衛生委員会設置、職員就業措置、職員健康診断－H27. 7. 23～H27. 8. 27の実施）
- ・ 共済保険（兵庫県市町村職員共済組合、公立学校共済組合兵庫支部）
- ・ 互助会（兵庫県市町職員互助会、兵庫県学校厚生会、兵庫県消防共助会）
- ・ 消防職員委員会（消防組織法第17条、消防職員対象）

②職員の利益の保護の状況（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

- ・ 休暇の取得状況
 - 年次休暇 7.85日（1人当たり/平成27年分）
 - 病欠休暇 29人（7日以上）
- ・ 産前産後休暇の取得状況
 - 産前産後休暇 6人
- ・ 介護休暇の取得状況
 - 介護休暇 0人

(11) 公平委員会の報告事項

- ①勤務条件に関する措置の要求の状況 0件
- ②不利益処分に関する審査請求の状況 0件

※平成27年度は「不服申立て」の報告としています。